

血管造影室におけるタイムアウトを見直そう！

救命救急センター

血管造影室部門について

救命救急センター看護師は、救命救急センターと血管造影室の2部署を兼務しています。
当院血管造影室では、核医学科・循環器内科・脳神経外科による血管内検査・診断・治療を行っており、
医師・看護師・放射線技師・臨床工学技師などの多職種連携が必要不可欠になります。
より安全な医療提供や情報共有を行うために**タイムアウトの取り組み**を強化しています。

タイムアウトとチェック項目

タイムアウトとは

○手技を始める前に関わるスタッフが手を止め、患者氏名・手技・手技部位・患者情報（アレルギーの有無等）について一斉に確認作業を行うこと

タイムアウトの意義

○手技前に医療の重要な場面を再評価することで治療効果の向上と安全性の増加の期待
○医療チームの意思疎通を改善し、間違いやリスクの軽減



抜けがないか確認！

医師確認	<input type="checkbox"/> 患者名	看護師確認	<input type="checkbox"/> 同意書・チェックリスト
	<input type="checkbox"/> 生年月日		<input type="checkbox"/> アレルギーの有無
	<input type="checkbox"/> 診断・治療・手技内容		<input type="checkbox"/> 感染症の有無
	<input type="checkbox"/> 穿刺部位		<input type="checkbox"/> 血圧測定・穿刺禁止部位
	<input type="checkbox"/> 脳外治療時 ACT時間の確認		<input type="checkbox"/> 薬剤の確認 ・術前投与薬の有無 ・麻薬の使用の有無 ・抗凝固/抗血小板薬の有無 ・休止薬 ・持ち込み薬剤の有無 *アブレーション時 ・鎮静薬の確認（種類・速度・タイミング）
放射線技師確認	<input type="checkbox"/> ガラスパッチ <input type="checkbox"/> 腎機能の確認		<input type="checkbox"/> ルート類の確認 ・末梢ルートの有無 ・経鼻胃管チューブの有無 ・ドレーンの有無 ・尿道留置カテーテルの有無
臨床工学技師確認	<input type="checkbox"/> 加圧バック ヘパリン生食の名前確認		<input type="checkbox"/> 持ち込み物品の有無
病棟看護師確認	<input type="checkbox"/> その他特記事項		<input type="checkbox"/> 造影剤使用時 造影剤の種類の確認

血管造影室におけるタイムアウト強化週間

○日々の業務の中でタイムアウトが形式化され確認不足を防ぐため
血管造影室独自にタイムアウト強化週間を実施！

①宣言

「タイムアウトを行います！」
スタッフ全員に伝えて集める

タイムアウトの5つのポイント

②作業を止める

作業しながらでは、内容の確認漏れの可能性あり、
作業を止めてタイムアウトを！

③チェックリストを確認

確認漏れがないようにチェックリストを
上からまんべんなく確認！

④声の大きさ

声はスタッフ全員に聞こえていますか？
全員に聞こえるように大きな声で！

⑤情報共有

共有事項や注意すべき点をスタッフで共有！
チェックリストだけに目をやるのではなく、
全員が理解できているかを全体を見て確認



患者さんと一緒に最終確認！

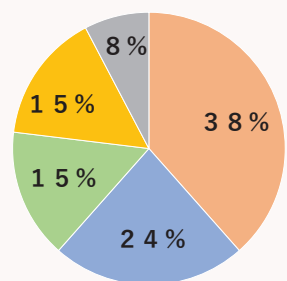
タイムアウト強化週間後スタッフアンケート調査で評価

■ アンケート回収率・・・95% ■ 自分に足りない・苦手・確認不足と感じたこと

■ 期間中に意識してタイムアウトできたか？

- 意識してできた・・・88%
- 意識しなかった・・・12%

(理由：強化期間に限らず常に意識しているため)



形式化していたタイムアウトを再認識してもらう機会を設けたことで、スタッフの大半が意識的に取り組むことができました。
タイムアウトに関する自己の振り返りもでき、確認不足による事故を減らすという本来のあり方を見直す良い機会になりました。
今後も継続的に強化期間を設け、事故防止に取り組んでいきたいと思ひます。